

にかほ市 文化講演会

演題

富士山から
日本を変える

日時

平成28年 9/24(土)

●開場13:00 ●開演13:30

会場

仁賀保勤労青少年ホーム
にかほ市平沢字中町79 TEL.0184-35-4711

入場料500円(全席自由席)

チケットは8月22日(月)より発売

託児(無料)希望の方は期限までにお申し込みください。

申込期限: 9月16日(金)迄 (未就学児は、ご入場できません。)

講師

アルピニスト

野口 健 のぐち けん

プロフィール

1999年エベレストの登頂に成功し、7大陸最高峰世界最年少登頂記録を25歳で樹立。2000年からはエベレストや富士山での清掃活動を開始。以降、全国の小中学生を主な対象とした「野口健・環境学校」を開設するなど、積極的に環境問題への取り組みを行っている。

職歴・経歴

1973年アメリカ・ボストンで生まれる。父が外交官であったためニューヨーク、サウジアラビアで幼少期を過ごし、4歳の時にはじめて日本の地を踏む。その後、中学・高校は英国立教学院に入学。しかし先輩を殴り、1ヶ月の停学処分を受ける。停学中に日本へ帰国し、一人旅に出た際、植村直己の「青春を山に賭けて」に出会い、登山を始める。

1999年3度目の挑戦でエベレストの登頂に成功。10年の歳月をかけて7大陸最高峰世界最年少登頂記録を25歳で樹立。2000年より「エベレスト清掃登山」「富士山清掃登山」を精力的に行っている。

2001年「シェルバ基金」を設立し、ヒマラヤ登山で遭難となった子どもたちの教育資金の提供を開始。

2003年次世代の環境問題を担っていく人材育成のため「野口健環境学校」を開校。

2008年ネパール・サマ村の子どもたちのために学校を作るプロジェクト「マナスル基金」を設立。

2010年「センカクモグラを守る会」を設立し、生物多様性の価値と保全の緊急性を訴えている。

2015年4月、ネパール滞在中に大地震に遭遇。エベレスト街道の村々を歩いて調査し、その被害のあまりの大きさに心を痛める。すぐさまヒマラヤ復興支援を決意、「ヒマラヤ大震災基金」を立ち上げる。

2016年4月、熊本の震災に際し、被害の大きかった益城町に岡山県総社市他と共同でテント村を開設。被災者の支援とともに、日本の避難所のあり方について提言を発している。

著書

『写真集 ヒマラヤに捧ぐ』(集英社インターナショナル)

『世界遺産にされて富士山は泣いている』(PHP新書)

『写真集 野口健が見た世界 INTO the WORLD』(集英社インターナショナル)

『それでも僕は「現場」に行く』(PHP研究所)

『確かに生きる一落ちこぼれたら這い上がればいい』(集英社)

『自然と国家と人間と』(日本経済新聞出版社)

『富士山を汚すのは誰かー清掃登山と環境問題』(角川書店)

『確かに生きる〜10代へのメッセージ〜』(クリタ舎)

『あきらめないこと、それが冒険だ』(学習研究社/第53回青少年読書感想文全国コンクール課題図書)

『落ちこぼれてエベレスト』(集英社)他多数



©Ken Noguchi Office

主催:にかほ市

●チケット取扱場所
●お問い合わせ先

仁賀保公民館/金浦公民館/象潟公民館/仁賀保勤労青少年ホーム
生涯学習課(金浦公民館内) TEL.0184-38-2171